



(本誌はホームページでもご覧いただけます。)

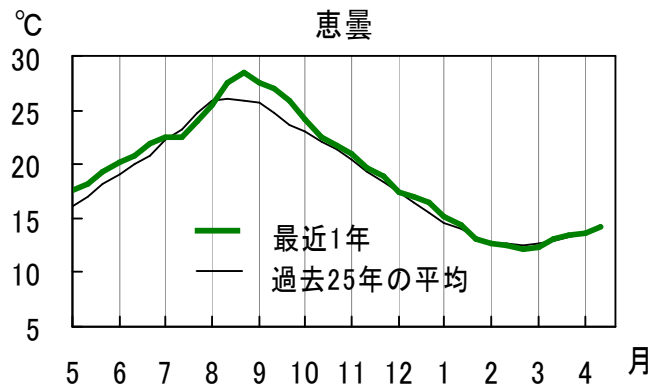
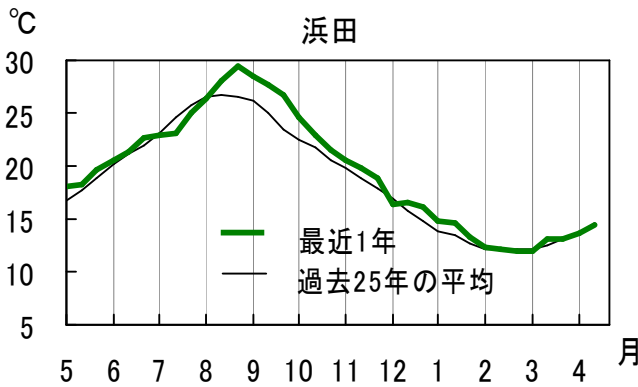
<http://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/>

(TEL 0855-22-1720)

《3-4 月の海況》

3 月	月平均	平年差	評 価
浜田	12.7℃	+0.2℃	平年並み
恵曇	13.0℃	+0.1℃	平年並み

沿岸定地水温は、3 月は浜田、恵曇とも平年並みとなりました。4 月も浜田、恵曇とも平年並みで推移しています。



《 3 月の漁況 》

【中型まき網漁業】

浜田ではこの時期の主力のマアジ、マサバが不調でしたが、カタクチイワシ、マイワシが好調で漁獲量はそれぞれ平年の 3 倍、58 倍だったことから漁獲量、漁獲金額はそれぞれ平年の 2.7 倍、5.6 倍となりました。浦郷、西郷ではマアジは平年並みでしたが、カタクチイワシ、マイワシが好調で漁獲量はそれぞれ平年の 2.0 倍、1.9 倍、漁獲金額はそれぞれ平年の 2.6 倍、2.2 倍となりました。

【イカ釣漁業】

各地区ともスルメイカ主体の漁獲でした。浜田港(属地 5 トン以上)では漁獲量は前年の 1.3%、平年の 1.0%と極めて不調でした。西郷(属人 5 トン以上)でも、漁獲量は前年の 0.5%、平年の 0.2%と極めて不調でした。

【沖合底びき網漁業】

浜田港では 1ヶ統 1 航海あたり漁獲量は、前年を 20% 下回りましたが、平年(過去 10 年平均)並みの漁獲となりました。マフグが好調に推移し、全漁獲の 4 割を占めました。

【小型底びき網漁業】

久手・和江両地区ともにニギス、ソウハチ、アンコウが主に漁獲されました。総漁獲量は両地区とも出漁日数が増加したことにより平年、前年を上回りました。1 隻 1 航海当たりの漁獲量は平年を 10~15% 上回り、比較的好調に推移しました。

【定置網漁業】

出雲地区ではスルメイカ・ヤリイカ・ブリ・マダイ・マアジなど漁獲され、ヤリイカは平年の約 2 倍、ブリは平年の 1.5 倍と好調だったものの、マアジが平年の 4 割と少なかったため全体の漁獲量は平年並となりました。隠岐地区では漁獲物の 8 割以上を占めるスルメイカの漁獲量が平年の 6 割と低調だったため、全体の漁獲量も平年の 6 割となりました。(石見地区は休漁が多いため割愛)

【釣・縄】

石見地区ではブリ、メダイ、サワラなどが漁獲され、漁獲量は平年の 1.3 倍でした。出雲地区ではブリなどが漁獲され、漁獲量は平年の 2.1 倍であり、そのうちブリは全体漁獲量の 8 割(平年の 2.8 倍)を占めました。隠岐地区ではブリ、メダイ、カサゴ・メバルなどが漁獲され、漁獲量は平年の 8 割でした。

【平成 20 年 3 月の漁獲統計】

漁業種類	水揚港	主要魚種	総漁獲量			CPUE(1隻(統)1航海あたり漁獲量)			漁模様
			漁獲量	前年比 %	平年比 %	漁獲量	前年比 %	平年比 %	
まき網 (中型・大 中型)	浜田	カタクチイワシ、マイワシ、ウルメイワシ	1,247トン	416	271	44.5トン	223	178	◎
	西郷	カタクチイワシ、マアジ、マイワシ	6,021トン	103	192	92.6トン	109	174	◎
	浦郷	カタクチイワシ、マイワシ、マアジ	4,206トン	116	198	66.8トン	103	165	◎
イカ釣り (5トン以上)	浜田	スルメイカ	3トン	1	1	144 kg	18	28	▲
	西郷	スルメイカ	42 kg	0.5	0.2	42 kg	31	10	○
沖合 底びき網	浜田	マフグ	425トン	100	113	12.1トン	80	103	○
小型 底びき網	久手	ニギス、ソウハチ、アンコウ	201トン	114	123	664kg	99	115	◎
	和江	ソウハチ、ニギス、アンコウ	293トン	108	115	721kg	96	111	◎
定置網 (大型)	浜田	—	—	—	—	—	—	—	—
	美保関	スルメイカ、ヤリイカ、スズキ、マアジ、マダイ	32トン	49	76	376kg	56	85	○
	浦郷	スルメイカ	22トン	59	55	930kg	66	50	○
釣り・縄	仁摩	メダイ、ブリ、サワラ	19トン	124	114	35 kg	92	79	▲
	大社	ブリ	109トン	182	261	98 kg	139	182	◎
	西郷	メダイ・カサゴ・メバル	8トン	117	48	25 kg	118	41	▲

平年比：過去 5 年（沖底のみ 10 年）の平均値との比較 漁模様（CPUE）：◎が平年以上、○が平年並み、▲が平年以下